令和６年度　衆議院海外派遣　報告書概要

令和６年８月１９日

１．団名

衆議院韓国、英国及びエストニアにおける地域活性化・こども政策・デジタル社会形成事情等調査議員団

２．目的

韓国、英国及びエストニアにおける地域活性化・こども政策・デジタル社会形成の事情等調査のため

３．派遣議員団

地域活性化・こども政策・デジタル社会形成に関する特別委員会

団　長	委員長	谷	公　一（自民）
	理　事	井　上	信　治（自民）
	理　事	岡　本	あき子（立憲）
	委　員	高　橋	千鶴子（共産）
同　行	委員部調査課課長補佐	中　村	達　哉

４．派遣期間

令和６年７月 25 日（木）から８月２日（金）までの９日間

５．派遣国

韓国、英国、エストニア

６．主な調査内容

（１）韓国（ソウル、世宗）

①　ソウル特別市を訪問し、少子化担当と意見交換を行い、少子化を克服するためのソウル特別市における取組を調査するとともに、少子化に関する認識や課題を共有した。

②　ソウル消防災難本部（ソウル 119 ビッグデータセンター）を訪問し、災害発生時の取組について調査を行うとともに、効果的な災害対応について関係者と

意見交換を行った。

③　韓国大統領直属の少子高齢社会委員会・周亨煥副委員長を訪問し、少子化の原因をはじめ、両国の対策や経験を共有した。

④　韓国におけるデジタル・ガバメントの進展等を調査するため、行政安全部との意見交換を行うとともに、デジタル・ガバメント展示ホールの視察を行った。

⑤　「日本食普及の親善大使」を訪問し、日本食・食文化等の魅力を発信する取組について視察するとともに、日本の各地域における農林水産物・食品の輸出拡大について意見交換を行った。

⑥　国立民族博物館こども博物館を視察し、こどもの遊びや体験を通じた能動的学習について調査を行った。

⑦　そのほか、両国における地域活性化、こども政策及びデジタル社会形成について、有識者等と意見交換を行った。

（２）英国（ロンドン、オックスフォード）

①　英国における日本食材の販売拠点を視察し、日本の各地域における農林水産物・食品の輸出拡大の現状や取組について調査するとともに、売り込む際の工夫や、英国における可能性などについて関係者と意見交換を行った。

②　ヘレン・ダグラス・ハウスを訪問し、「こどもホスピス」の現状や取組を視察するとともに、関係者と課題の共有、意見交換等を行った。

③　英国におけるＤＢＳ（Disclosure and Barring Service）制度の調査を行うため、現状及び課題について関係者との意見交換を行った。

④　英国におけるデジタル・ガバメントの進展等について調査するため、ＧＤＳ（Government Digital Service）を訪問し、関係者との意見交換を行った。

⑤　そのほか、両国における地域活性化、こども政策及びデジタル社会形成について、有識者等と意見交換を行った。

（３）エストニア（タリン）

①　ペースシルム幼稚園を訪問し、エストニアの幼児教育の現場を視察するとともに、園長等の関係者とこども政策について課題の共有や、意見交換を行った。

②　デジタル先進国であるエストニアにおけるデジタル社会形成について調査するため、ｅＧＡ（ｅガバナンス・アカデミー）を訪問し、関係者との意見交換を行った。

③　エストニアにおけるデジタル・ガバメントの進展等について調査するため、経済通信省・サラヴ＝タンムス次官補を訪問し、意見交換を行った。

④　青少年・教育委員会（Harno）を訪問し、こども政策におけるデジタル化や教育データ利活用について、意見交換を行った。

⑤　そのほか、両国におけるこども政策及びデジタル社会形成について、有識者等と意見交換を行った。

（注）報告書概要は、速報性を重視した概要版として作成・掲載しているものです。詳細な内容については報告書を御参照ください。